

協働のまちづくり事業の進め方 ~まちづくりを考えてみよう!~

①地域の課題を 考えよう!

「守りたいもの」「大切にしたいもの」が何かを考えれば、ヒントは自然に見つかります。

②みんなで話し合おう!

課題が見つかったら、解決するための進め方を話し合しましょう。目標をどこに置き、協働の相手方をどうするか、役割分担もしっかりと決めておくことが大事です。

③みんなで やってみよう!

公平な立場で、みんなが協力し、楽しみながら、解決に向けて行動しましょう。

④次にいかそう!

「こうしたこの方がよかった」「次はこうしたい」など、ふりかえりを次にいかしましょう。

まとめ

市民協働とは、行政や市民（地域団体、NPO、事業者なども含みます）が対等な関係で、その役割と責任を分担し、信頼関係のもと、共通の目標に向かって、連携、協力することです。

必ずしも行政が仲立ちするわけではなく、市民や地域の団体、事業者だけで協働する場合がありますが、お互いの長所を活かした相乗効果が期待できます。

大切なことは、互いに共存共栄の関係であること、そして「自分たちのまちは自分たちでつくる」という目的意識を持つことが成功の秘訣です。

さあ、できることから共に取り組んでいきましょう。



黒部市では、平成22年11月に「黒部市協働のまちづくりガイドライン」を策定しています。詳細は、黒部市ホームページの「市の方針・計画」からご覧になれます。
<http://www.city.kurobe.toyama.jp/>

豊かな自然と住みよい黒部

わたしたちのまちは
わたしたちの手で

【問い合わせ先】

黒部市 市長政策室 企画政策課
TEL: 0765-54-2111 FAX: 0765-54-3959
〒938-8555 黒部市三日市725番地
E-mail: info-k@city.kurobe.lg.jp

これからのまちづくりは協働がキーポイント!

黒部市 協働のまちづくり

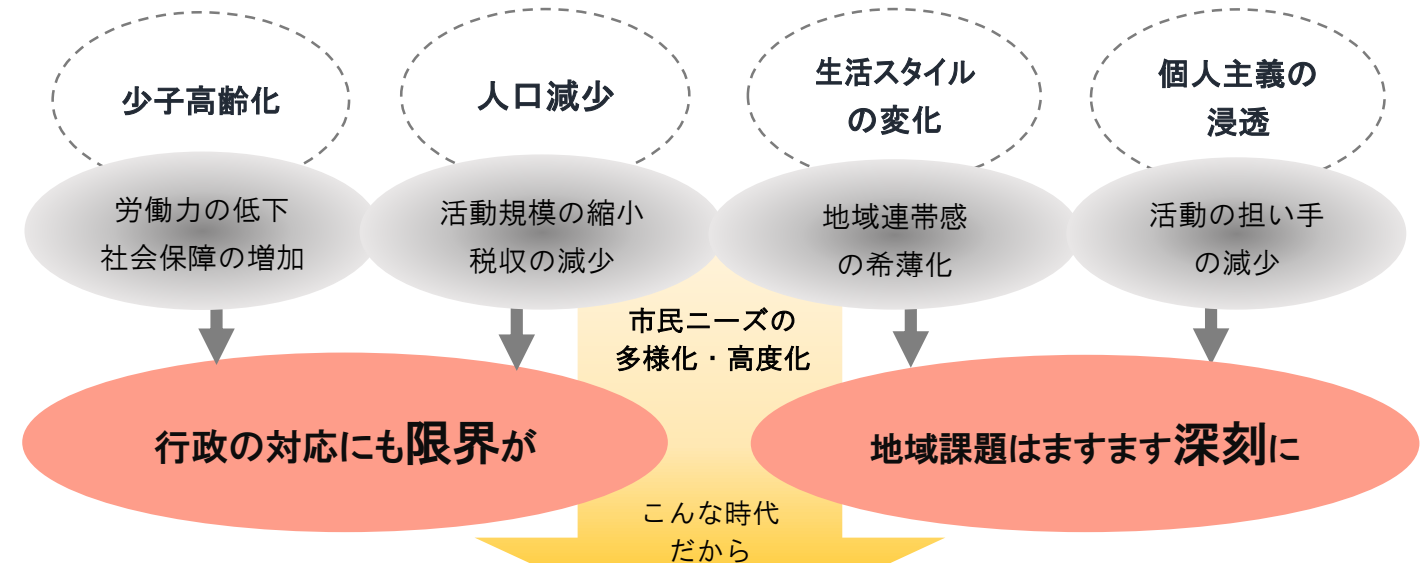
●黒部市は、市民一人ひとりが主役として自主的かつ積極的にまちづくりへ参画することを基本に、第1次黒部市総合振興計画の中で「市民の参画と協働によるまちづくり」を、将来都市像を達成するための基本理念として掲げています。

「協働（きょうどう）」ってなに？

※市民と行政が対等なパートナーとして、役割分担を明確にし、共通の目標に向かって連携、協力することです。

※ここでいう市民は、住民だけでなく、町内会やNPOなどの地域活動団体や企業、商店など、黒部市のまちづくりを担うすべての主体をさします。

なぜ今、協働が必要なの???



地域力を集め、互い(市民と行政)の長所や知恵を活かし
協働のまちづくりを進めていくことが大切です!

協働のまちづくり、3つのポイント

ポイント1

市民と行政が課題と目標(目的)を共有すること



身近な課題に対して、どのような状態にしたいか。協働は、そこから始まります。課題解決の手段を考え、最終の目標をパートナー同士が共有することが重要です。目標にずれがあると、満足できる成果が得られません。

ポイント2

協働の相手方とは対等な立場であること

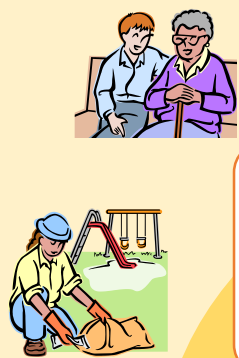


課題に対して目標が決まったら、パートナーを考えましょう。自助（個人でできること）、共助（地域で協力できること）、公助（行政の力が必要なこと）の流れで検討し、一緒にできる相手方を見つけましょう。そして、パートナーとは対等な立場であることが重要です。押しつけや、一方に頼る姿勢では、取り組みは長続きしません。

ポイント3

役割を理解し、分担しよう！

役割を分担し、それぞれの良いところを発揮し、補完しあうことで、きめ細かいサービスを提供することができます。



市民

- ・情報収集、対話
- ・地域活動への参加、参画
- ・社会貢献活動への参加、参画

事業者

- ・社会貢献活動のための環境づくり
- ・地域活動、市民活動への支援
- ・まちづくりへの参加

企業、商店等

NPO、まちづくり団体

振興会、町内会

女性団体、同好会

老人クラブ等

黒部市

- ・地域の課題解決
- ・まちづくりの提案、参加
- ・住民同士の交流
- ・専門知識や情報の提供
- ・活動の場の提供

お互いの立場の違いと役割・責任を理解し、それぞれの特徴と長所を活かして協力、連携

市民・地域活動団

- ・情報提供、共有、対話の充実
- ・環境の整備
- ・参加、参画機会の提供
- ・協働の普及啓発、意識の醸成
- ・推進体制の整備



パートナーごとの役割分担を明確にしましょう！

企画

申請・届出

助成金

PR・受付

注文・会計

安全対策

協働のまちづくりにより、様々なメリットが期待できます

市民のメリット

- ニーズに合った公共サービスを受けられる
- 生きがいづくり、自己実現の創出につながる
- 市民主体の新しい社会が形成できる

市民活動団体等のメリット

- 市民活動や地域活動の活性化につながる
- 市民活動や地域活動が社会的に認知される
- 組織のレベルアップにつながる

行政のメリット

- 多様な行政サービスを提供できる
- 職員の意識改革、資質の向上につながる
- 行財政運営の改善につながる

さあ、できることから実際にやってみよう！

【取り組み事例】

協働でできるまちづくりはたくさんあります。まずは、地域の活動に参加するなど、身近でできることから、着実に積み上げることが大切です。

放課後子ども教室

地域住民の参画を得て、放課後子ども教室を開設しています。

共働き世帯の保護者の不安を解消し、学級、学年を超えた活動により、活気あふれる学校生活につながっています。

自主防災組織

地域住民が連携して自主防災組織が設立されています。

防災知識の普及啓発を行うとともに、防災や救助活動にかかる技術の習得や地域の防災訓練等を行い、地域住民の安心、安全な生活に貢献しています。

安心・安全なまちにしたい



地域をきれいにしたい



活気あるまちにしたい

河川海岸清掃

地区住民や小中学生、企業関係者等が協力して、河川や海岸の清掃を行っています。

地域の自然の保全と美化につながるのと同時に、地域住民の故郷に対する思いと連帯意識が醸成されています。

地域イベント等

専門知識を持つNPO法人や実行委員会等の市民活動団体を中心となり、討論会や講演会、市民会議、くろワンきっぷ、くろべ餃子まつり、モーツァルト音楽祭などのイベントを開催し、魅力と活気あふれるまちづくりにつながっています。